

学校長あいさつ

岩内町立岩内第二中学校のホームページにアクセスしていただきありがとうございます。

岩内町は、西暦 1751 年に関西の地より弁財船にて来岩した商人によって場所請負がなされ、北海道洋画壇を代表する木田金次郎の出身地として数多くの作品が展示された美術館を有するなど、歴史・文化・芸術に富んだ町です。

本校は、昭和 23 年 10 月に岩内町宮園中学校として開校しました。前年 5 月以来、町立高台中学校分校教室として旧庁舎岩内中学校が置かれたものを分離し独立校としました。翌同 24 年 4 月。高台中学校を岩内第一中学校に、宮園中学校を岩内第二中学校と改名し、現在に至っています。

本校の学校教育目標は「思いやりの心を持ち、進んで実践し、生き生きと活動する生徒」です。現代社会にとってより有為な人材を育てることを目指しています。また、本校がふるさと岩内のまちづくりの担い手として、「高い知性……自ら考える生徒」「豊かな情操……自ら求める生徒」「たくましい体……自ら鍛える生徒」と基礎となる力を育むために 3 つの目標を掲げています。

今年度の重点目標は「自らを律して、成りたい自分の姿を目指す生徒」です。この重点目標を達成するため、岩内町校区の小中一貫教育の更なる推進、学校・地域・保護者が共に義務教育 9 年間の接続を意識しながら取り組んでいきます。

令和 8 年度義務教育学校「岩内中央学園」が開校します。

町立学校教育目標（岩内町で目指す 15 歳の姿）は「ふるさと岩内を愛し、志高く夢の実現に向かう子供」です。この実現に向けて、本校のみならず、岩内町に集うすべての児童・生徒一人ひとりが学校・保護者・地域など多くの人から認められることは人間の成長にとって不可欠です。その上で、自分という存在を受け入れ自らの成長を受け止められることを目指します。そんな学校、地域でありたいと考えます。

私たち教職員は、その生徒の成長を育むために、一人ひとりの生徒に寄り添い、励まし、支え、ともに歩み、ともに悩み、ともに喜びを共有することで実現させたいと考えます。

そのことから本校を含め岩内町の学校における主体は子どもです。そのため、「9 年間の義務教育でこんな子どもに育てる」という強い思いを示す必要があることに加え、町民の誰もが理解し、共感できることが重要と考え、本校の学校経営を推進いたします。

今後ともこのホームページを通して本校の様子をご覧いただき、ご理解とご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

校長 庄 司 真 人